

## 主要テーマ：リレーションシップ投資詐欺



## キーメッセージ

賢い投資者は...

- リレーションシップ投資詐欺について理解している：
  - 詐欺師は、マッチングアプリ、ソーシャルメディア、または不審なテキストメッセージ等のオンライン上でターゲットと友情や恋愛関係を結ぶことで信頼を築く。信頼と感情的な繋がりを築いた後、彼らは偽の「投資機会」を提示する。
  - 誰にでも起こり得る。
  - 人身売買や強制労働に依存する国際的な犯罪組織によって行われている。
  - これらは、ロマンス詐欺、金融的洗脳詐欺、「ピッグブッチャリング (Pig-butcher) =豚の屠殺」詐欺などと呼ばれることもある。
  - 犯罪者はこれらの詐欺を通じて世界中の人々から数十億ドルを盗んでいる。
  - 詐欺を仕掛ける犯罪組織は高度に組織化されており、AI や心理操作の最新技術を駆使して金銭を盗み取る。
  - 暗号資産の預入は、銀行預金のように保護されてない。暗号資産市場への投資方法について他の方法を検討することができる。詳細は、金融アドバイザーに相談すること。
  - 詐欺を法執行機関に報告することで他者に対する詐欺や、自身を標的とした金銭の回収を約束する「回収詐欺」を防ぐのに役立つ。
  - 詐欺で失った金銭の回収は稀であり、暗号資産は数秒で海外送金される可能性がある。
- リレーションシップ投資詐欺を回避する手順を理解している：

- 面識のない人からのテキストメッセージは無視する。いかなるテキストメッセージも詐欺の始まりになる可能性がある。テキストメッセージによる詐欺を避けるためには：
  - メッセージを削除し、スパムとして報告する
  - 送信者をブロックする
- 見覚えのないグループチャットや取引グループへの参加は避ける。スマートフォンで、グループに追加される際に許可が必要となるプライバシー設定を有効にする。
- 新たなオンラインの友人の身元を確認する。これには、画像の逆検索や他のインターネット検索機能を用いた、オンラインで出会った人の身元の検証が含まれる。AIによってソーシャルメディアのプロフィール、写真、動画、ライブビデオ通話、取引プラットフォームなど、オンライン上のあらゆるものが偽造可能。一部の犯罪者は、合法的な人物を装って、投資者が苦労して貯めたお金を騙し取ろうとする。
- 直感を信じる：何かおかしいと感じたら、止まり、一旦中断し、考え直す。
- オンラインでしか会ったことのない人には絶対に金銭を送らない。
- オンラインで共有する個人情報に制御し、閲覧者の範囲を管理する：全てのソーシャルメディアプラットフォーム、メッセージアプリ、モバイルデバイスのプライバシー設定を確認する。
- 全ての金融口座とソーシャルメディアアカウントに多要素認証（MFA）を設定し、追加のセキュリティを設ける。
- 深刻な財務状況、より多くの資産や愛情に対する欲求が、高リスクな投資に繋がらないようにする。
- 投資は余剰資金で行い、投資を分散する。
- 投資対象を理解する。投資や取引を行う前に独自に調べ、投資がどのように利益を生むか、損失をどのように被る可能性があるか、市場の仕組みについて学ぶ。また、関連当局から免許、または承認を受けた者を通じてのみ投資する。投資アドバイスや投資商品を販売する個人や企業の登録状況を常に確認する。
- 投資判断を行う前に、投資経験のある登録済みの金融アドバイザーに相談する。
- 投資を行う前に、[ICAAN](#)を使用し、投資プラットフォームの創設年数を確認する。詐欺師は、古いウェブサイトが削除されると新たなウェブサイトを作成す

る。新たなウェブサイトは、詐欺的な投資プラットフォームの兆候である可能性がある。

- 不審な人物や活動を、ソーシャルメディア、マッチングアプリ、メッセージングのプラットフォームに報告する。
- リレーションシップ投資詐欺の危険信号を理解している：
  - 関係が急展開する：新たな友人が早い段階で強い感情を示す。
  - 会話をマッチングアプリやソーシャルメディア上から暗号化メッセージアプリに移そうとしたがる：一部のマッチングアプリには有害又は違法行為を検出するメッセージフィルターが搭載されており、詐欺師はそうしたアプリ外でテキストメッセージによるコミュニケーションをとることを好む。
  - ビデオ通話や対面での接触を避ける傾向にある：海外に滞在している、軍事に従事している、石油掘削施設にいる、インターネット接続が悪いこと等の様々な言い訳をする。ビデオ通話を行う場合、AI を用いて似せたリアルな動画を作成することがある。
  - 金銭を要求したり、投資について言及する：これが最大の危険信号である。本物の恋愛相手は、特に「投資機会」という名目で、関係が浅い段階で金銭を要求することはない。
  - 特定の、知らない取引プラットフォームの利用を勧められる：聞いたことのないプラットフォームに誘導し、「投資」が急速に成長するように見せかけ、さらに多くの資金を投入するように勧める。
  - リスク無しに高い利益を約束する：もし好条件過ぎる話なら、ほぼ間違いなく詐欺である。正当な投資にはリスクが伴う。
  - 直ちに行動するよう圧力をかけてくる：直ちに投資しないと機会を逃すと言う。
  - 資金の引き出しを渋る：「利益」を引き出そうとすると、突然技術的な問題が発生したり、予期せぬ税金や手数料を支払う必要があると言う。
  - 他者から孤立させ、操ろうとする：友人や家族とその「投資」について話すことを妨げようとする。

- リレーションシップ投資詐欺に巻き込まれた場合の対応を理解している：

- 直ちにすべての連絡を断つ：詐欺師との接触を断ち、追加の金銭や個人情報を送らないようにする。
  - 直ちに銀行に連絡する：詐欺関連の支払いについて銀行に報告する。時間との戦いになり、特に最近の送金の一部を阻止又は回収できる可能性がある。
  - すべての証拠を集める：会話のスクリーンショット、取引記録、詐欺師の氏名と詳細、偽の投資プラットフォームに関する情報を収集する。
  - すべてのパスワードを変更する：特にメール、銀行口座、及び不正アクセスを受けた可能性があるオンラインアカウントのパスワードを変更する。
  - 信頼できる人に相談する：友人、家族、又はカウンセラーに共有する。感情面での影響に対処することは非常に重要である。
  - 恥じない：詐欺師は信頼を操作する専門家である。誰にでも起こり得ることである。
  - 関係当局に詐欺を通報する。
  - 友人や家族に注意を促す。
- リレーションシップ投資詐欺の標的は再び標的となる可能性があることを理解している：
    - 損失回収詐欺：詐欺で金銭を盗まれた後、手数料を支払うことで金銭を返還すると約束する人物から接触がある。
    - マネーミュール詐欺：仕事の一環として、または他者の指示に従い、銀行口座、デジタルウォレット、または現物市場での暗号資産取引口座に資金を送金したり、受け取ったりするよう求められる行為。場合によっては、ターゲットが銀行口座や暗号資産ウォレットを開設し、オンラインの知人がその口座を通じて資金を洗浄するために利用することで利益を得られると言われる。これは、マネーロンダリングに該当し、法律で訴追可能であり、懲役刑を含む場合がある。